

10	<ul style="list-style-type: none"> 集計計画の検討 調査の実施・回収・集計 	12	<ul style="list-style-type: none"> 研究報告書の原稿作成
11	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果の分析 研究報告書の原稿検討 	1	<ul style="list-style-type: none"> 研究報告書の印刷
		2	<ul style="list-style-type: none"> 研究報告書を関係機関へ配布
		3	

(3) 調査の対象

本県小・中学校の現職教育主任及び30歳代の教員（小学校各 561 人，中学校各 251 人）を対象とした。

(4) 調査の方法

質問紙法による。

(5) 調査の期間

昭和53年 9 月13日(水)～10月13日(金)

(6) 調査の基本構成

調 査 目 標	調 査 項 目
児童・生徒の実態は、どうなっているか。	問1 授業における児童・生徒の問題点
学校の現職教育や教師個人の研究主題は、どうなっているか。	問2 現職教育のための研究主題 問3 教師個人の研究主題
現職教育の一環として、どのような授業研究を行っているか。	問4 この1年間に実施した授業研究 問5 授業研究に対する考え方
授業研究実施上、どのような問題点があるか。	問6 授業研究実施上の問題点 問7 授業研究の困難点
授業を改善するには、どのようにしたらよいか。	問8 自分の授業を改善するために努力したいこと 問9 自分の授業を改善するための研究・研修の方法